

高校時代の活動

高校3年間に北海道・奥尻島で過ごし、住んでいた民宿がウニ漁を営んでいたため、夏はウニむきなど手伝いをして、島の人たちの暮らしに触れました。

その中で、地域づくりに他者との協働は必須と考えるようになり、島の課題解決を目指して、函館工業高等専門学校と札幌開成高校の生徒とともに、はこだて学生アイデアコンテストに出場しました。「観光」と「移住」を組み合わせたプロジェクトの提案は、優秀アイデア賞を頂きました。

他校と協力することによって、異なる観点から奥尻町の課題を発見できていると高い評価を受けました。



志望理由

高校の3年間に過疎地域で暮らした体験から、地域の少子高齢化や人口減少などの現状を自分にしかできない方法で打破できないかと、さらに発展できる場所で学びたいと思ったことがきっかけです。

福祉の核となるWell-beingを自分のモノにし、現代福祉学部のフィールドワークを通じて、さらに他の地域にも足を運んで活動したいと思っています。

高校生の皆さんへ

まずは感性豊かに色々なことに挑戦してみてください。意外なことにも考えていたことは、全く違う分野からまちづくりや地方創生が繋がる 경우가多くあります。はじめから関係ないからと決めつけて切り捨てるのではなく、一度受け止めて動いてみると視野が広がります。残りの期間頑張ってください！！応援しています！

作成者：S・K 出身:東京都江戸川区



「法政大学現代福祉学部「まちづくりチャレンジ入試」に興味のある方は、以下のウェブサイトもご覧ください。

現代福祉学部で学びたい方へ

<https://www.hosei.ac.jp/gendaifukushi/jukensei/>